

3月13日

テーマ：はいをはい、いいえをいいえ

聖書箇所：ヤコブの手紙 5章12節

◆今日のみことば

「はい」を「はい」、「いいえ」を「いいえ」としなさい。ヤコブの手紙5章12節

◆メッセージ

正直な社会では、誓いは必要ありません。誓いをたてなければならないのは、自分が本当のことを話していることが信用されない場合だけです。罪ある人間の世界は、正直な社会でなくなっていました。だから、「本当のことだよ。絶対だよ。」と示すために誓いを立てるようになりました。



むかしのイスラエルでは、神さまのお名前を使って誓うと、くるしめられることからのがれることができたので、神さまのお名前を使って誓うことが多くおこなわれていました。そのまちがいを教えているのが、今日のみことばです。

「天をさしても地をさしても、そのほかの何かをさしてもです。」とは、たとい神さまのお名前をよばなくても、神さまによって造られたもの（たとえば天や木や石）をさして誓うことは、神さまのお名前によって誓うことと同じだということです。

神さまのお名前をみだりに使うことは、軽い気持ちや自分の都合で神さまを利用することになります。ですから、モーセの十戒の三番目「あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。」とされています。神さまのさばきを受けないように注意しましょう。「はい」を「はい」、「いいえ」を「いいえ」ということは、お話しするときに正直にお話しすることが大切だということです。また、じぶんの話したことに責任を取るといふ大切さもあります。だから、はい、いいえをはっきり正直に言うようにしましょう。



◆お祈り

「いつも、自分の心に正直に『はい』『いいえ』と返事をしたり、言うことが出来ま

(支援教師 町川洋三)